

## お取引先との協働

マネジメント・  
アプローチ

## 重要課題とアプローチ

川崎重工グループが事業を行っていく上でお取引先は重要なパートナーの一つです。コンプライアンス、人権・労働・安全衛生や地球環境への配慮など、CSRの考えに沿った調達活動を行うことは必要不可欠です。そのためには、当社グループだけではなくパートナーであるお取引先にもご協力いただき、サプライチェーン全体でのCSRの取り組みを積極的に推進していかなければなりません。

## 重点活動/中長期目標

サプライチェーン全体のCSRリスクを認識し、お取引先と共にCSR活動を推進することで顧客や社会からの要請に応えていきます。

## ● 「中計2019」での達成像

- 国内外の主要なお取引先に対しCSR調達アンケートを実施するなどし、お取引先各社のCSRへの関心度を高めていきます。

## 進捗/成果/課題

## ● 2018年度目標

- 海外の主要なお取引先に対してCSR調達アンケートを実施し、各社のCSR活動の現状を把握
- CSR調達ガイドラインの改訂およびサプライヤーに対する周知を行い、各社のCSRへの関心度を向上
- お取引先に対して、CSRに関する説明会を開催し、各社のCSRへの関心度を向上

## ● 2018年度実績

- 海外の主要なお取引先(計65社)に対してアンケート調査を実施
- 2018年5月にCSR調達ガイドラインの改訂を行い、当社Webサイトに公開。また、「川崎重工グループ行動規範」と合わせ、お取引先に対して2019年度に配付予定
- 各カンパニー・ビジネスセンターの取引先に対する事業説明会や研修会の中で「お取引先と共に推進するCSR」と題して説明会を実施(2018年度実績:開催回数9回 参加社数約650社)

## ● 2019年度目標

- CSR調達ガイドラインの改訂や取引先への説明会を踏まえ、国内の主要なお取引先に対してCSR調達アンケートを実施し、お取引先各社のCSR活動の現状を把握するとともに、お取引先への周知とCSR意識の向上を図ります。

## 体制

日常業務における調達活動は、各カンパニー・ビジネスセンターの責任・権限において行っています。

カンパニーを横断する会議体として、年に1回、調達担当役員も出席する調達部門長会議を本社調達本部主催で開催し、各カンパニー・ビジネスセンターが定めている調達に関するKPIの前年度実績のフォローや当年度の活動予定を共有するほか、CSR調達をはじめとした全社に共通する調達施策や方針の決定などを行っています。

## お取引先との協働

## 資材調達の基本方針

川崎重工グループは、以下の「資材調達基本方針」に基づき調達活動を展開しています。

## 公平・公正な取引

お取引先の選定においては、広く公平な機会を提供し、品質、価格、納期、技術開発力などを総合的かつ公正に評価した上で、誠実に選定を行います。

## お取引先とのパートナーシップ

当社は、最適な品質・コスト・納期とその安定調達を実現するために、長期的視点において、お取引先と信頼関係を構築し、相互の競争力強化と繁栄を目指します。

## コンプライアンス

関連法規、社会規範を遵守します。また、取引を通じて知り得た情報を適切に管理するとともに、機密情報については、その保持と漏洩の防止を徹底します。

## 人権・労働・安全衛生への配慮

人権ならびに労働環境や安全衛生に配慮した調達活動を推進します。

## グリーン調達による地球環境との調和

製品に使用する資材について、地球環境に配慮した調達を推進します。

また、「資材調達基本方針」と「紛争鉱物調達方針」を当社 Web サイトに開示し、当社の資材調達における基本的な考え方をパートナーであるお取引先にお伝えしています。

## ●方針の適用範囲

川崎重工グループ、および資材調達の取引先



## 資材調達基本方針

<https://www.khi.co.jp/sustainability/social/suppliers/pdf/plan1.pdf>

## 紛争鉱物調達方針

<https://www.khi.co.jp/sustainability/social/suppliers/pdf/minerals.pdf>

## CSR 調達

## CSR 調達に対する当社の考え方

当社グループが事業を行っていく上で、コンプライアンスをはじめとし、人権・労働・安全衛生や地球環境への配慮など、CSRの考えに沿った調達活動を行うことは必要不可欠です。そのためには、当社グループだけではなくパートナーであるお取引先にもご協力いただき、サプライチェーン全体でのCSRの取り組みを積極的に推進していかねばなりません。

## CSR 調達に対する当社の取り組み

当社では、Webサイトで当社のCSR調達に対する考え方とお取引先への要望事項を記載した「CSR調達ガイドライン」(2012年初版制定・2018年改訂)を開示するとともに、2016年度には、国内のお取引先を対象にアンケート調査を実施し、約1,400社のお取引先にご協力をいただきました。また、2018年度には、海外の主要なお取引先(計65社)を対象としたアンケート調査を実施しました。

さらに2018年度からは、お取引先に対して、当社のCSRに対する考え方について直接ご説明をする場を設けています。説明会では、サプライチェーン・マネジメント上の重要課題である人権問題や環境問題などをお伝えし、CSRへの取り組みを強化していただけるよう要請しています。2018年度は説明会を9回実施し、合計で約650社のお取引先にご参加いただきました。また、従業員に向けても、社内研修でCSR調達について講義を行い、担当者のCSR意識を高めるべく取り組んでいます。

なお、資機材の調達活動を行っている国内外の当社グループ各社におきましても、各社の事業形態に適合した形で各社のWebサイトを通じてCSR調達方針などを開示するなど、グローバルかつ当社グループ全体でのCSR調達を志向しています。今後も当社グループは、パートナーであるお取引先と共に、サプライチェーン全体でCSRの取り組みを推進していきます。



CSR調達ガイドライン

[https://www.khi.co.jp/sustainability/pdf/csr\\_tyoutatsu\\_guideline.pdf](https://www.khi.co.jp/sustainability/pdf/csr_tyoutatsu_guideline.pdf)

## サプライチェーンのリスク評価

2016年度に、「CSR調達ガイドライン」の遵守状況を把握するために、国内のお取引先を対象にアンケート調査を実施し、約1,400社のお取引先にご協力をいただきました。また、2018年度には、海外の主要なお取引先(計65社)を対象としたアンケート調査を実施しました。今後は本アンケート結果を基に、サプライチェーン全体でのCSRの取り組みをより強化するべく施策を実行していきます。

## サプライヤーのキャパシティビルディングおよびインセンティブ

川崎重工グループでは、6つのカンパニー体制により幅広い分野の資材を調達しており、事業ごとに必要に応じてお取引先を対象に品質・デリバリーにおけるパフォーマンス向上などを目的とした研修会や表彰制度を行っています。

## 資材調達に関するコンプライアンスの徹底

当社では、「下請代金支払遅延等防止法(下請法)」や「建設業法」など調達関連法規の遵守のため、当社グループの調達部門を対象とした集合研修を毎年実施しています。特に下請法については、次の通り調達部門に限らず積極的な周知・啓発の取り組みを継続しています。

- 他社の違反事例などを参考にした「下請法違反事例集」を2009年10月に作成
- 各業務にて陥りがちな下請法違反行為を確認・是正するためのツールとして、「下請法自主監査チェックリスト」を2013年4月にイントラネットに掲載し、全従業員に幅広く啓発
- 2011年度より、主に設計・製造部門を対象とした研修を各工場および主要連結子会社で実施しており、2018年度は820人が受講(参考:累計受講者数は5,936名)

## 紛争鉱物に関する取り組み

当社グループでは、2013年12月に「紛争鉱物調達方針」を当社Webサイトに開示し、コンゴ民主共和国およびその周辺国で産出される錫、タンタル、タングステン、金の調達・使用によって、当該国での紛争や非人道的行為へ加担する意思はないことを表明しています。

また、前述の「CSR調達ガイドライン」において、お取引先に対しても同様の取り組みを要請しています。



紛争鉱物調達方針

<https://www.khi.co.jp/sustainability/social/suppliers/pdf/minerals.pdf>

CSR調達ガイドライン

[https://www.khi.co.jp/sustainability/pdf/csr\\_tyoutatsu\\_guideline.pdf](https://www.khi.co.jp/sustainability/pdf/csr_tyoutatsu_guideline.pdf)

---

## サプライチェーンにおける人権対応

### お取引先への働きかけ(方針の周知、教育など)

川崎重工では、お取引先と取り交わす基本契約書において、双方が企業の社会的責任の重要性を認識し、環境、社会の持続的発展を踏まえた事業活動および社会活動に自主的かつ積極的に取り組むことを明記しています。

加えて、人権を含めたCSRをサプライチェーン全体で推進していくことを目的として、お取引先に期待するCSR活動の指針として「CSR調達ガイドライン」を作成し、当社Webサイトで公開するとともに、お取引先の皆様に配付を行っています。また、お取引先の取り組み状況を確認するため、2016年度に国内のお取引先を対象にアンケート調査を実施し、約1,400社のお取引先にご協力をいただきました。また、2018年度は海外の主要なお取引先65社に対して同様のアンケートを実施し、概ね当社の期待する内容の回答を得ることができました。

さらに2018年度からは、お取引先に対して、当社のCSRに対する考え方について直接ご説明する場を設けて、人権対応を含めたCSRへの取り組みを強化するよう要請しています。



CSR調達ガイドライン

[https://www.khi.co.jp/sustainability/pdf/csr\\_tyoutatsu\\_guideline.pdf](https://www.khi.co.jp/sustainability/pdf/csr_tyoutatsu_guideline.pdf)

---

## サプライチェーンにおける児童労働・強制労働に関する取り組み

「CSR調達ガイドライン」において、川崎重工グループのサプライチェーン上でのすべての労働はほかの者に強要されるのではなく自発意思によるものであること、また就労可能年齢に達しない児童労働を禁止・撲滅することを表明し、保証することをお取引先に要請しています。



CSR調達ガイドライン

[https://www.khi.co.jp/sustainability/pdf/csr\\_tyoutatsu\\_guideline.pdf](https://www.khi.co.jp/sustainability/pdf/csr_tyoutatsu_guideline.pdf)